

「高松市駐車対策基本計画（案）」のパブリックコメント実施結果

本市では、平成 24 年 1 月 17 日から 1 月 31 日までの期間、「高松市駐車対策基本計画（案）」に関するパブリックコメントを実施しました。いただいた御意見の要旨およびそれに対する本市の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1. 意見総数：3 件（2 人）
2. いただいた御意見の要旨とそれに対する本市の考え方

番号	御意見（要旨）	市の考え方
I 利用者マナーの向上について		
1	公共施設利用時の「1 時間無料」等の制度は必要ないと思う。 （理由） 駐車場の割引制度などにより、自動車利用の方が公共交通機関利用よりも経済的であるため、市街地中心部における自動車交通量が減少しない一因となっている。	本市では、高松市総合都市交通計画に基づき、過度に自動車に依存しない公共交通を機軸としたまちづくりを進めているところでございます。 市街地中心部への自動車流入量を減らす施策として、駐車場課金やロードプライシング（都心部へ流入する車に課金する制度）などが国内外で研究・実施されておりますが、ご意見の駐車場割引制度の廃止についても、自動車流入の抑制や駐車場利用収入を増やす観点からは、有効な手段の一つであると考えられ、これまで本市においても調査・研究を行ってまいりました。 一方、本庁舎に来庁する方は、種々の行政サービスを享受される方、地区の出張所では用務を足すことができない方、行政に様々な形で関わり協力される方など多種多様であり、その中には公共交通機関のない交通不便地区にお住まいの方も多いためと存じます。 そのため、開庁（昭和 54 年）以来、実施してきた割引制度

		<p>を廃止することは市民サービスの低下を招く可能性があることから、廃止にあたってはその他の交通政策と十分に連携する必要があるものと存じます。</p> <p>ご意見の内容につきましては、今後の課題として研究してまいりたいと存じますのでよろしくお願いいたします。</p>
2	<p>三越（高松市内町）周辺では、S A L E時期などの繁忙期に、駐車場が満車状態に陥ることが多く、周辺道路では空車待ち車両による交通混雑を招いており、対策が必要であると思う。</p>	<p>平成初期頃、本市の市街地中心部においては、モータリゼーションの進展と駐車場不足から、違法駐車や駐車場の空車待ち車両等により、日常的に交通混雑を招いておりました。そのため、本市では、公共および民間駐車場の整備促進や駐車場案内システムの設置など、自動車駐車の利用環境の向上に努めてまいりましたが、近年では、附置義務駐車場やコインパーキングの増加などにより、本市の市街地中心部の駐車場は供給過多の状態に陥っており、公共・民間駐車場とともに利用率の低下が顕著となっております。</p> <p>ご意見の三越周辺地区の店舗契約駐車場は、現地調査の結果、平常時の瞬間利用率で83.6%と高い利用率でありましたが、少し離れたサンポート高松や玉藻公園周辺地区の公共駐車場等では約50%、中心部全体の時間貸し駐車場では約60%と日常的に利用率が低い状態であることから、今後は新たな駐車場整備は行わず、できるだけ既存駐車場を有効に活用するソフト対策が必要であると考えております。</p> <p>本市では、少子高齢、人口減少社会の進展や地球環境問題等に対処するため、コンパクトで美しい持続可能なまちづくりを目指す中で、高松市総合都市交通計画に基づき、自動車から公</p>

		<p>公共交通へ転換し、コミュニティバスやパーク&ライド、また自転車利用の促進などを図ってまいりたいと存じます。</p> <p>なお、ご意見の一時的に増加する駐車需要に対しても、公共交通機関等の利用促進や利用可能な駐車場位置の情報発信など、発生原因者である民間事業者と連携し、ソフト対策を含め検討してまいりたいと存じます。</p>
3	<p>木下サーカスなど大規模イベント開催時における駐車対策が必要であると思う。また、普段生活をしている住民の支障とならないような対策が必要であると思う。</p>	<p>これまで、サンポート高松等で行われた大規模イベントに対しては、道路混雑を招かないよう主催者により、臨時駐車場の確保や大型バスによるピストン輸送などの対策を講じてまいりましたが、送迎の時間帯など一時的に、周辺道路が混雑し、一般の通行者にご迷惑をおかけしているものと存じます。</p> <p>また、大型バス用の駐車スペースがない会場や施設等では、乗降時に路上駐車を行っている状況が見られるため、今後、一時的に集中する観光需要やイベント開催時の駐車対策が課題であると存じております。</p> <p>そのため、大規模イベント開催時には、事前に警察はもとより、イベント主催者や施設管理者、観光協会等と連携した取組が重要であると考えており、周辺地区への影響を極力抑える対策として、大型バスの利用可能な駐車場や臨時駐車場、交通結節点におけるパーク&ライド等を活用した公共交通の利用について、情報発信するとともに道路混雑が発生しないよう周知・啓発を行うなどの対策を講じてまいりたいと存じます。</p>